

「食品循環資源堆肥を通じたループ形成」シンポジウムと 現地視察のご案内

土づくり推進フォーラム（会長 松本 聡 事務局（財）日本土壌協会）では土づくり推進シンポジウムと現地視察研修会を次のとおり開催致します。昨年 12 月に改正施行された「食品リサイクル法」（農林水産省）においては食品循環資源のリサイクルループ形成が重点推進事項の一つとなっております。今回はこうした中で特に食品循環資源堆肥や肥料の利用促進と資源循環を中心に話題提供と意見交換をします。ご出席いただける場合には 11 月 21 日（金）までに別添の参加申込書にご記入の上、ファックス（ファックスがない場合は電話）又は Eメールで（財）日本土壌協会までご連絡をお願いします。

1. 土づくり推進シンポジウム

(1) 日 時

平成 20 年 11 月 25 日（火） 13 時 30 分～17 時 00 分

(2) 場 所

日本教育会館（一ツ橋ホール）8 階 第 1 会議室（案内図添付）

東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2831

(3) 主催： 土づくり推進フォーラム（事務局（財）日本土壌協会）

共催： 土壌保全調査事業全国協議会（事務局（財）日本土壌協会）

共催： 全国食品・畜産有機資源リサイクル協会（事務局（財）日本土壌協会）

後援： （財）食品産業センター

(4) シンポジウム

テーマ

「食品循環資源堆肥や肥料による農産物生産とリサイクルループ形成」

挨拶

土づくり推進フォーラム会長、（財）日本土壌協会会長理事（東大名誉教授） 松本 聡氏

パネラーと発表内容

① 食品循環資源の再生利用の現状とリサイクルループ形成等の動向

（食品循環資源によるリサイクルループ形成のねらいやこれに関しての最近の動向と優良事例などを紹介）

農林水産省総合食料局食品産業企画課食品環境対策室課長補佐 島津 久樹氏

② スーパーにおける食品循環資源堆肥利用農産物販売と今後の方向

（現在、（株）エコスでは食品循環資源堆肥利用農産物を開拓し取り扱っており、その意図と今後の方向などを紹介）

株式会社 エコス取締役企画統括室長

三吉 敏郎氏

③食品循環資源堆肥の製造とそれを利用した農産物直売等による地域活性化

(食品残渣や落ち葉、間伐材等を活用した堆肥化施設を設置して地域の環境保全と直売場での堆肥利用農産物の販売等を通じた地域の活性化に取り組んでいる状況を紹介)

栃木県茂木町美土里館長(農林課土づくり推進室長) 矢野健司氏

④品質の良い食品循環資源堆肥生産とそれを活用した農産物の品質・収量

(食品循環資源堆肥については塩分、油分等の懸念などがあり利用する側に不安があるが、品質の良い堆肥生産の条件や他の堆肥と比較しての農作物の収量、品質について紹介)

(財)日本土壌協会 参与 古畑 哲氏

⑤食品循環資源肥料の開発・利用による高品質農産物生産と土づくり効果

(ある食品循環資源を原料として製造した肥料により生産した農産物の糖度が高まったり硝酸イオン濃度が低下するなど顕著な効果が見られることが最近判明したことからその状況を紹介)

全国食品・畜産有機資源リサイクル協会 副会長、
富士見工業(株)有機資源開発研究所長 金田 雄二氏

コーディネーター

増島 博氏 (元 東京農業大学教授)

(食品循環資源堆肥の品質や施用効果についての委員会の座長をされるなど堆肥の循環利用や環境問題について造詣が深い)

*シンポジウム終了後、同会館の宴会場でパネラー等を交えての懇談会を開催致します。
多くの方のご参加をお待ちしております。

2. 現地視察研修会

(1) 日程と視察先

平成20年11月26日(水)(雨天決行)

(千葉県下の食品循環資源を原料とした堆肥センター等やそれにより農産物生産している農場見学や食品循環資源ループ形成の取組状況を聴取)

☆(株)フジコー食品循環資源堆肥センター等と農場(千葉県白井市)(午前見学昼食後バスで移動)

(スーパー等の食品循環資源を原料として堆肥生産を行うとともに、系列農場(農業生産法人)で堆肥利用農産物を生産し地元スーパーに販売している。また、食品循環資源の飼料化や乾式メタン発酵とともに木質系廃棄物によるガス化発電にも取り組んでいる。)

☆(株)アグリガイアシステム堆肥センターと「セブンファーム富里」の農産物生産の取組

(千葉県八街市他)

(セブンイレブン等の食品循環資源を原料として堆肥生産を行なうとともに、本年からイトーヨーカドー、JA 富里がタイアップしてその堆肥を利用して野菜を生産し千葉県内イトーヨーカドー店舗に農産物を供給し始めている。)

(2) 集合と解散場所・時間

◇集合場所・時間: 9時30分 北総線西白井駅前集合(スーパーマルエツ側)(バスで移動)

◇解散場所・時間: 17時00分頃 JR線千葉駅前解散

3. 参加費等

(1)参加費(含資料代) フォーラム会員 2,000円、一般(非会員) 3,000円

(配布資料:シンポジウム講演資料の他、非会員の参加者には、当日、会員に配布する「圃場と土壌」土づくり特集号、特集テーマ「食品循環資源堆肥の利用促進と資源循環」を配布)

(2)懇談会参加費 5,000円/1人

(3)現地視察費 5,000円/1人(バス借上代、昼食代、資料代等) [定員50名]

4. 申し込み方法

別添の参加申し込み用紙を用いてファックス(ファックスが無い場合には電話)かEメールで 11月21日(金)までに(財)日本土壌協会(FAX 03-3219-1646)あてお申し込み下さい。参加費等については

①シンポジウムと懇談会の参加費は当日(11月25日)の受付でお支払い願います。

②「現地視察研修会」についてはバスの定員の関係で先着順受付。

(シンポジウムにも参加される方は11月25日の受付の際に、お支払い願います。

なお、「現地視察研修会」のみご参加の方は定員の関係で予め事務局にお問い合わせいただいた後、下記あて振り込み願います。(注)振り込み後にキャンセルした場合には返金できません。)

(銀行口座) みずほ銀行 九段支店(店番号532口座番号2029380) 土づくり推進フォーラム

(郵便振替)00110-1-150021 土づくり推進フォーラム

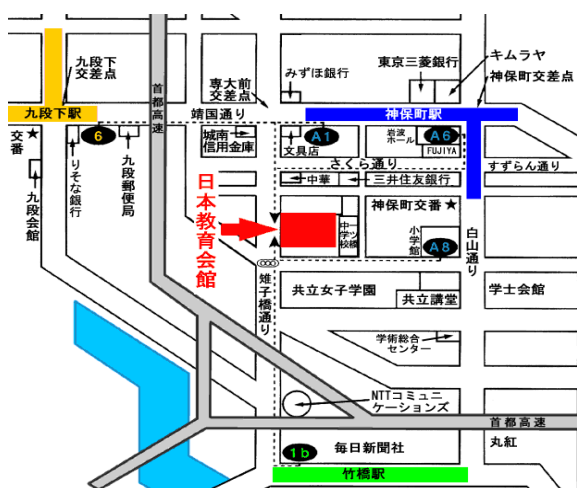
5. 事務局(連絡先)

(財)日本土壌協会 〒101-0051 千代田区神田神保町1-58 パピロスビル6階

TEL 03-3292-7281~3 FAX 03-3219-1646

Eメール mail@japan-soil.net (担当)企画部、総務部

「日本教育会館(一ツ橋ホール)への交通案内」



- 地下鉄都営新宿線・営団半蔵門線神保町駅 (A1出口)下車徒歩5分
- 地下鉄都営三田線神保町駅(A8出口)下車徒歩5分
- 地下鉄営団東西線竹橋駅(北の丸公園側出口)下車徒歩5分
- 地下鉄営団東西線九段下駅(6番出口)下車徒歩7分、JR総武線水道橋駅(西口出口)下車徒歩15分

土づくり推進シンポジウム参加申込書

((財)日本土壌協会 FAX 03-3219-1646)

・所属名 ・住所(電話、FAX) ・E-mail	ふりがな 氏名	参加区分 (○印)		
		シンポジウム	懇談会	現地視察

* ご参加の場合はこの用紙を用いてファックス等で送付願います。